

やさい週間情報(第44号)

平成29年2月3日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~5,800	6,000~5,800	C品増	1本売り (2L・L) 498~298円	本県産中心に北海道産の販売。 先週に引続き末端の動きは鈍く、入荷割合の高いC品を中心に在庫を持ちながらの販売となっている。各量販店の棚はカット販売中心から、1本売りとなるL級以下は動きも鈍く、市況は全体的に弱含み推移となっている。 来週については、本県産の入荷量は微減となるものの、荷動きの鈍さは変わらず、市況は弱保合推移の見込み。 2月に入り、一斉消費宣伝を行うこととしており、C品のカット販売および細物の1本売り等の企画を提案し、消費の拡大を図る。
		A3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		A M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B4L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B3L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B M	4,000~3,800	4,000~3,800			
		C2L	4,000~3,800	4,000~3,800			
		C L	3,800~3,600	3,800~3,600			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,000	6,000~5,800	増加	1本売り 498~398円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 基調高で販売企画が少ないことに加え、カット販売主体で1本売りが少なく売場が縮小していることから、全般に荷動きは鈍っており、価格は弱含みの販売となった。 来週については、荷動きが鈍く流通在庫が増加していることから、全般に価格を下げた販売となる見通し。 今週末から試食消費宣伝会を実施し、売場の拡大をすることにより荷動きの回復を図りたい。
		A3L	6,000	6,000~5,800			
		A2L	5,500	5,500~5,300			
		A L	5,000	5,000~4,800			
		A M	4,200~4,000	4,000			
		B4L	5,500	5,500~5,300			
		B3L	5,500	5,500~5,300			
		B2L	5,300~5,200	5,200~5,000			
		B L	4,500~4,400	4,500~4,300			
		B M	3,800	3,800			
		C2L	4,000~3,800	3,800			
		C L	3,800~3,600	3,600			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	6,300~6,000	6,300~6,000		1本売り 498~458円 カット 98円/100g	北海道産（業者物が主体）を中心に本県産の販売。 総体量は多くないものの、末端売価が高く消費が鈍いことと、今週は月末絡みとなったことから、特に1本売りとなる細物を中心に軟調推移となった。また、安価な転送品の出回りも、引続き多い状況となっている。 来週についても、発生割合が低いカット売りとなる太物の価格は概ね保合推移となる見込みだが、細物は引合いが鈍く、価格は軟調傾向が見込まれる。
		A3L	6,300~6,000	6,300~6,000			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B4L	5,500~	5,500~			
		B3L	5,500~	5,500~			
		B2L	5,200~4,800	5,200~4,800			
		B L	4,500~	4,500~			
		C2L	4,000~3,800	4,000~3,800			
		C L	3,800~3,600	3,800~3,600			
九州	本県産	A4L	6,000~	6,000~		カット 100g 88~68円	本県および北海道産の入荷量の少なさから価格は保たれているが、量販店の売場は狭く、カット販売中心からL級以下の荷動きが鈍くなっている。 来週以降、九州各地区で消費宣伝を実施し、入荷割合の多いC品の価格の維持および、消費の喚起と売場の拡張を図っていく。
		A3L	6,000~	6,000~			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	4,800~	4,800~			
		B4L	5,500~	5,500~			
		B3L	5,500~	5,500~			
		B2L	5,000~	5,000~			
		B L	4,500~	4,500~			
		C2L	4,000~	4,000~			
東北	本県産 北海道産	A4L	6,000~	6,000~	なし	1本売り 480~円 カット 100g 78~58円	本県産中心の販売。 売価高となっていることから2L・L級については荷動きが鈍いものの、入荷量が少ない太物については、カット販売中心の売場から堅調な販売となっている。 来週については、入荷量が減少見込みとなっているものの、引続き荷動きが鈍い状況が予想されるため、消費宣伝会を実施し荷動きの回復を図る。
		A2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B4L	5,300~5,200	5,300~5,200			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	3,800~3,700	3,800~3,700			
		C L	3,600~3,500	3,600~3,500			

品名 に ん に く

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	1,800~1,700 2,000~1,800 1,800~	1,800~1,700 2,000~1,800 1,800~	増加	L 1 P 298 円 M 1 P 198 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	<p>本県産中心の販売。 先週に引続き、産地出荷が微増となる中、末端の荷動きは変わっておらず、各社在庫を持ちながらの販売。特に2L級の動きが鈍い。 来週については、本県産の入荷量は変わらないものの荷動きの鈍さは変わらず、市況は弱保合い推移の見込み。 入荷量増加に伴い本県産の一斉消費宣伝を行い、売場の拡大に努める。</p>
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	1,800~1,700 1,800 1,800 1,600~1,500 1,600 1,600	1,700 1,800 1,800 1,500 1,600 1,600	2 L	L 1 P 258~198 円	<p>本県産中心の販売となっている。 価格を下げて荷動きの回復を図っているものの、高値時の流通在庫を抱えており末端売価が下がらないことから、売場の少ない2L中心に荷動きの鈍い販売が続いている。 来週については、ほぼ今週並の入荷量が見込まれるなか、2L級については発注が少なく流通在庫が多いことから、価格を若干下げて荷動きの回復を図りたい。</p>
大阪	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	1,800~ 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,800~1,500 1,600~1,500	1,800~ 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,800~1,500 1,600~1,500		L 1 P 298 円	<p>本県産中心の販売。 本県産の潤沢な入荷から各社とも在庫を抱えながらの販売となっており、全体的に弱含みで推移した。特に、入荷比率の高いB2Lは、仲卸在庫も増加傾向となっている。 来週の入荷量は横ばいとなり、荷動きが回復しないままでの販売となるものの、価格は保合推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L	2,000~1,800 2,000~1,800	2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298~258 円	<p>本県産の流通量が極端に増とはなっていないものの、2L級およびM級の荷動きが鈍く、各社在庫を抱えながらの販売となっている。 来週以降CAおよび氷温庫への入庫も概ね終了し、市場出荷へとシフトしていくが、極端な入荷増とならない限り現在の価格を保ったままで推移する見込み。</p>

品名 にんにく No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	1,700~1,500 2,000~1,800 2,000~	1,700~1,500 2,000~1,800 2,000~	なし		本県産中心の販売。 本県産の入荷増量に加え、流通量も多いことから荷動きは緩慢となり2L中心に弱含み推移となっている。 来週については、本県産の入荷量は横ばいとなる見込みから、2L級は軟調傾向となるものの、L級については保合での販売となる見込み。

品名 ごぼう

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	10 kg A 2 L A L A M 4 kg A 2 L A L A M	2,800~2,500 3,500~3,300 3,500~3,300 1,200~1,000 1,300~1,200 1,400~1,200	2,800~2,500 3,500~3,300 3,500~3,300 1,200~1,000 1,300~1,200 1,400~1,200	3L・2L多い	L 1 P 258~198 円 L ハーフ 258~198 円 新ごぼう 2 P 198~178 円	本県産および九州産（新ごぼう）の販売。 引続き、本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから市況の下げとなっている。また、本県地場市場からの安価な提案も増加しており、市況の下げに拍車をかけている。九州産については、2月より入荷ピークを迎えており、特売等の動きは新ごぼうにシフトしている。 来週についても、本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから、市況は弱保合い推移の見込み。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S A 3 S	3,300~3,000 3,500 2,500~2,300 1,800~1,700 1,300~1,200	3,300~3,000 3,500 2,500~2,300 1,800~1,700 1,300~1,200	若干	【本県産】 2 M 2 本入 258 円 【九州産洗い】 200 g 258~198 円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 本県産については、基調高で特売等が組めず売場が狭まるなか、量販店等は安価な九州産新ごぼう主体の売場構成となっている。 来週についても、本県産は入荷量が少ないことから、価格は概ね保合推移が見込まれるが、九州産中心の発注となることから、荷動きの鈍い販売が続く見通し。
大阪	北海道産 本県産 関東産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	2,300~ 3,000~2,800 3,500~ 3,500~ 3,500~ 2,500~ 2,000~	2,300~ 3,000~2,800 3,500~ 3,500~ 3,500~ 2,500~ 2,000~		ハーフ 158 円 2 M 2 P 198 円	関東産を中心に、本県産・九州産（洗ごぼう）の販売。 入荷の全体量は多くないものの、これまでの価格高から末端の消費は鈍いことと、量販店等からの注文は比較的安価な関東産が主体となっていることから、全体的に荷動きは鈍い状況となっている。また、安価な転送品の出回りも、引続き多い状況となっている。 来週も関東産・本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから価格は弱保合での推移となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主 力 産 地	主 力 等 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
九 州	本 県 産	A 2 L A L A M	3,300~3,200 3,600~3,500 3,600~3,500	3,300~3,200 3,600~3,500 3,600~3,500		M 2 P 298 円	<p>本県産および九州各産地のごぼうの売場構成は、価格は下げ基調ではあるが、売価高が続いていることから売場は広がらず、全体的に荷動きが鈍い状態に変化はない。</p> <p>3 L・2 L級は本県産指定の加工業者以外からの引合いが弱く、流通在庫を抱えながらの販売となっている。</p> <p>当面本県産の入荷量は少ないが、荷動きの鈍さから価格は下押しの展開となる見込み。</p>
東 北	本 県 産	4 kg A 2 L A L A M	1,100~1,000 1,300~1,200 1,500~1,300	1,100~1,000 1,300~1,200 1,500~1,300			<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の入荷量は依然として少なく、L・M級中心に引合いが強まったことから価格を戻した販売となっている。</p> <p>来週について、入荷量は増量とはならない中で、太物は引続き軟調推移となるものの、L・M級については堅調な販売となる見込み。</p>